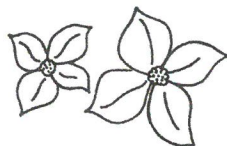




やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

http://www.ichijima-kodomoen.com

こども園HP



< 教育・保育理念 >

受容・信頼・貢献感

いきよう

ちからいっぱい

ぶんらしく

まっすぐに

自然への興味関心

いちじまこども園のまわりには田んぼがあり、畑があり、山があり、川もあります。園庭には実のなる木や種ができる草花が育ち、気がついた時すぐに触れたり採ったりできます。自然がいつもそばにある素晴らしい環境です。

自然の中で遊ぶと、なぜか心も体も開放的になります。そして小さな虫や花、木の実や光る小石、空を流れる雲など、様々な事に気づき触れていくうちに、どんどんおもしろい遊びへと発展していくのです。

豊かな自然の息吹を感じ、自然の力を受け取って、子ども達の感性はますます磨かれ、免疫力もあがっていきます。また、四季折々の自然の美しさや、季節の移り変わりの中で生き物も変化していく事を発見し、興味を深めていけるように、保育者は誘いかけ、言葉をかけています。

自然の中で遊ぶ事は、子どもたちにとって最も大切な学びの機会です。



自然の中ではつい走ってしまう。

声を出したくなってしまう！



発見がいっぱい♪



▲畑での収穫体験も

大切にしています！

倉橋惣三の言葉

秋澄めり。

何人も自分を思う時だ。

秋静か。

自分を養うに一番いい時だ。

子どもの為の教育に

忙しい裡にも、

自分の為の教育が

気になる季節だ。

教育学、心理学、児童研究、

保育法。

それよりも一層、自分の為の

本を読みたい時だ。

「育ての心」より

倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイブル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

